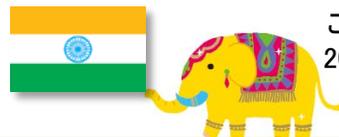


足元のインドルピー相場



新興国通貨は今夏以降、米国の利上げ観測や、商品市況の下落、中国の景気減速懸念などを背景に下落しましたが、インドルピーの下落幅は相対的に小さくなりました。これは、他国に比べてインドのファンダメンタルズが良好であることが背景にあります。

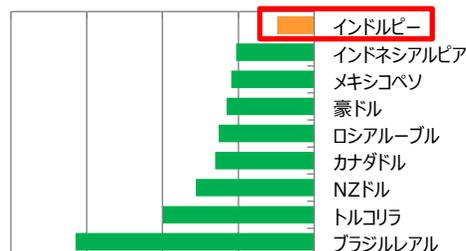
7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前年同期比+7.4%となり、前四半期から加速しました。また、10月のインフレ率は+5.0%となり、モンスーン期の降雨量が例年より約14%も少なかったわりには、比較的落ち着いています。

安定的な国際収支※もルピーの安定化につながっています。2014年頃より、外国人直接投資・証券投資の純流入額の合計が経常収支の赤字幅を上回る状態が続いており、これはルピー高要因となります。また、外国為替市場での介入原資となる外貨準備高が増加していることも、ルピーの下支え要因となります。今月に予想されている米国の利上げにより、新興国からの資本流出が懸念されるものの、上記のようなインドの良好なファンダメンタルズを背景に、ルピーは底堅く推移すると思われます。

※一定期間における国の全ての対外経済取引を記録した統計。経常収支、資本収支、外貨準備増減の3項目に大別される。

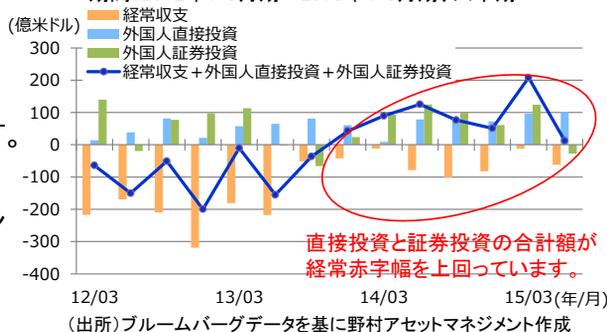
■各通貨の年初来騰落率(対米ドル)

期間：2014年12月末～2015年11月末
-40% -30% -20% -10% 0%



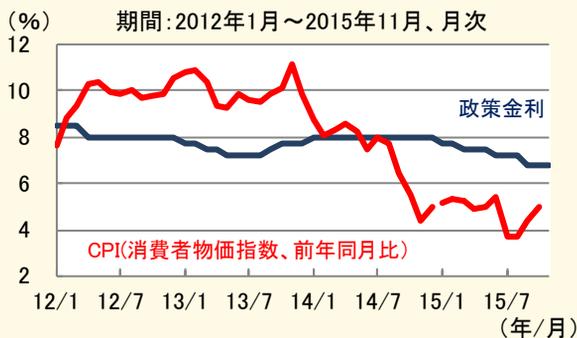
■インドの経常収支、外国人直接投資、外国人証券投資

期間：2012年1-3月期～2015年4-6月期、四半期



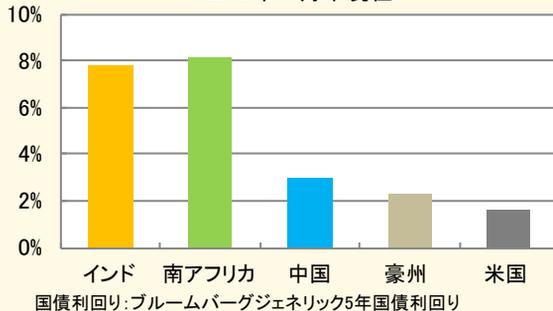
■政策金利とインフレ率の推移

CPIは2015年10月まで。
2014年12月までは旧基準のデータ。



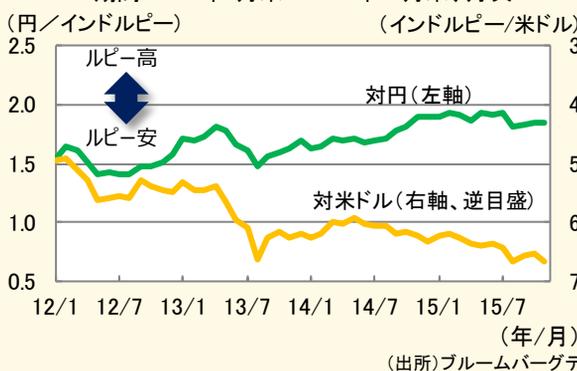
■各国の国債利回り比較

2015年11月末現在



■為替の推移

期間：2012年1月末～2015年11月末、月次



■インド株式指数の推移

期間：2012年1月末～2015年11月末、月次



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。